

健康経営に関する実態調査 調査結果

2019年1月

東京商工会議所

健康づくり・スポーツ振興委員会

I. アンケート調査概要

1. 調査の目的

東京商工会議所では、健康寿命の延伸の実現に向け、健康経営の普及および実践支援、職域における運動習慣の定着化などについて推進してきた。

この度、健康経営の普及・実践支援を進める上で、会員企業における健康経営の実態や抱える課題を把握することにより、要望事項のとりまとめや今後の事業展開に供するため、本調査を実施した。

※健康経営とは

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する経営手法。企業理念に基づいて、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上等につながると期待されている。具体的には従業員の健診受診率100%を目指す、職場での「運動」「食事」「禁煙」等の健康づくり施策を実施する、メンタルヘルスや過重労働対策などの取り組みを通じて、従業員の心身の健康増進を図るもの。

2. 調査方法

- ・FAXによる配布、FAX及びWEB回答フォームによる回収

3. 調査期間

2018年7月24日（火）～8月10日（金）

4. 調査対象・回収状況

(1) 調査対象

条 件：東京商工会議所会員企業のうち、従業員300人以下の企業より無作為抽出
送付件数：2,714件

(2) 回答数・回収率（有効回答数／送付件数×100）

有効回答数：292件 回収率：10.7%

《調査結果の見方》

1. 図表中の「n」とは、回答事業所総数のことで、構成比率算出の際の母数である。
2. 表中の「%」は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計が100%にならない場合がある。
3. 複数回答の設問は、構成比の合計が100%を超える場合がある。
4. 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

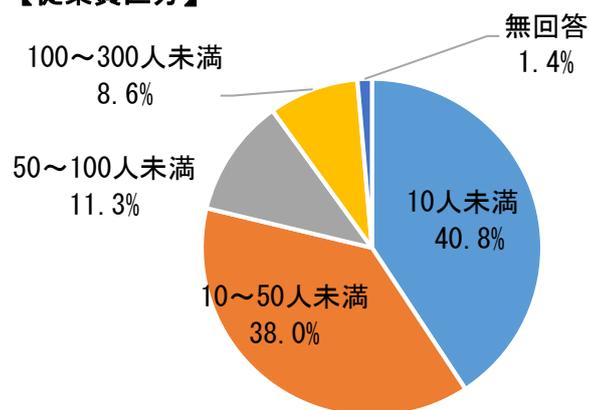
※「健康経営®」は特定非営利法人健康経営研究会の登録商標です。

5. 回答企業の属性

(1) 従業員数

従業員区分	有効回答数	パーセント
10人未満	119	40.8%
10～50人未満	111	38.0%
50～100人未満	33	11.3%
100～300人未満	25	8.6%
無回答	4	1.4%
	292	100.0%

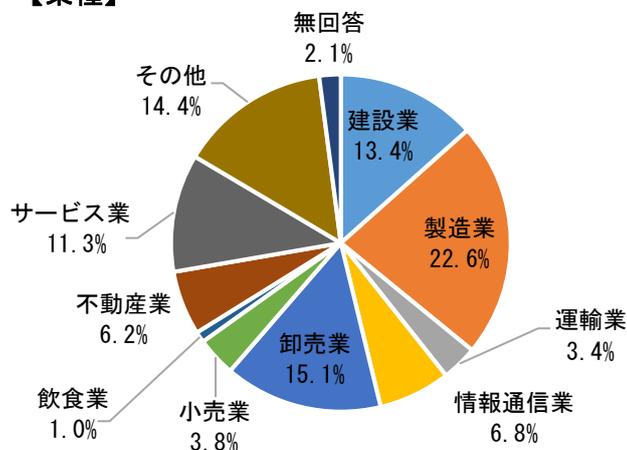
【従業員区分】



(2) 業種

業種区分	有効回答数	パーセント
建設業	39	13.4%
製造業	66	22.6%
運輸業	10	3.4%
情報通信業	20	6.8%
卸売業	44	15.1%
小売業	11	3.8%
飲食業	3	1.0%
不動産業	18	6.2%
サービス業	33	11.3%
その他	42	14.4%
無回答	6	2.1%
	292	100.0%

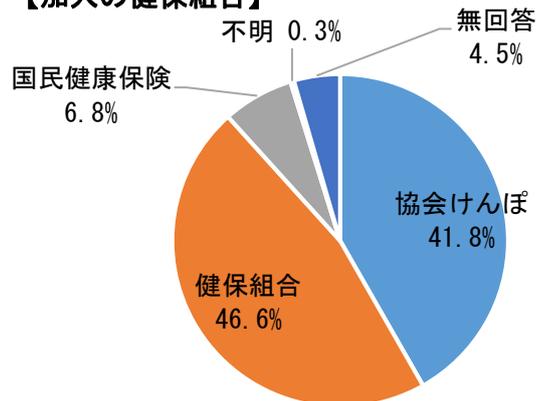
【業種】



(3) 加入の健保組合

加入健保区分	有効回答数	パーセント
協会けんぽ	122	41.8%
健保組合	136	46.6%
国民健康保険	20	6.8%
不明	1	0.3%
無回答	13	4.5%
	292	100.0%

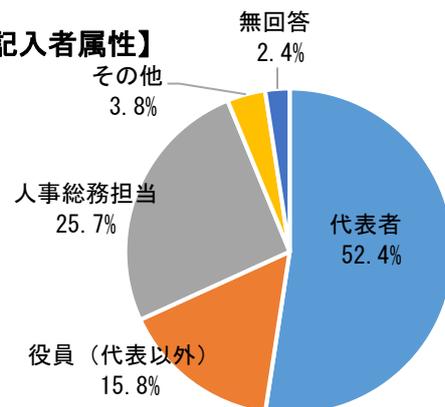
【加入の健保組合】



(4) 記入者の属性

記入者属性	有効回答数	パーセント
代表者	153	52.4%
役員 (代表以外)	46	15.8%
人事総務担当	75	25.7%
その他	11	3.8%
無回答	7	2.4%
	292	100.0%

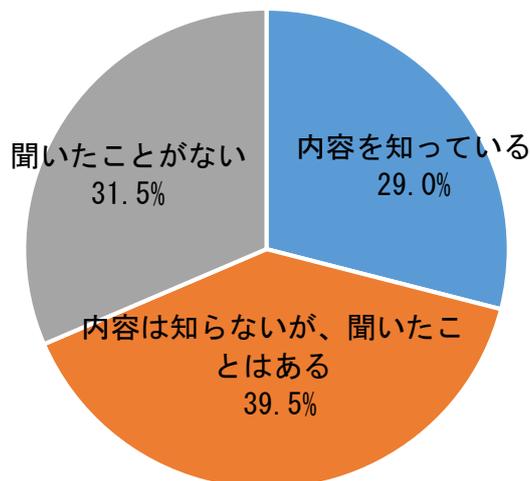
【記入者属性】



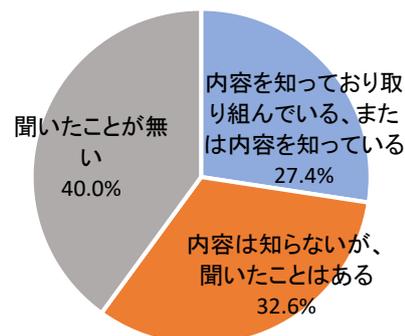
II. アンケート調査結果

(Q1)「健康経営」という言葉をご存じですか？

健康経営の認知度について、29.0%の企業が「内容を知っている」と回答しており、前回実施（※）した調査と比較すると認知度は高まっている。また、「聞いたことがない」は31.5%で前回調査よりも割合が下がっている。一方で「内容は知らないが、聞いたことはある」が39.5%で、「健康経営」の言葉自体は広がりつつも、取り組み方法や効果についてはまだまだ認知度が低く、更なる普及活動が必要である。



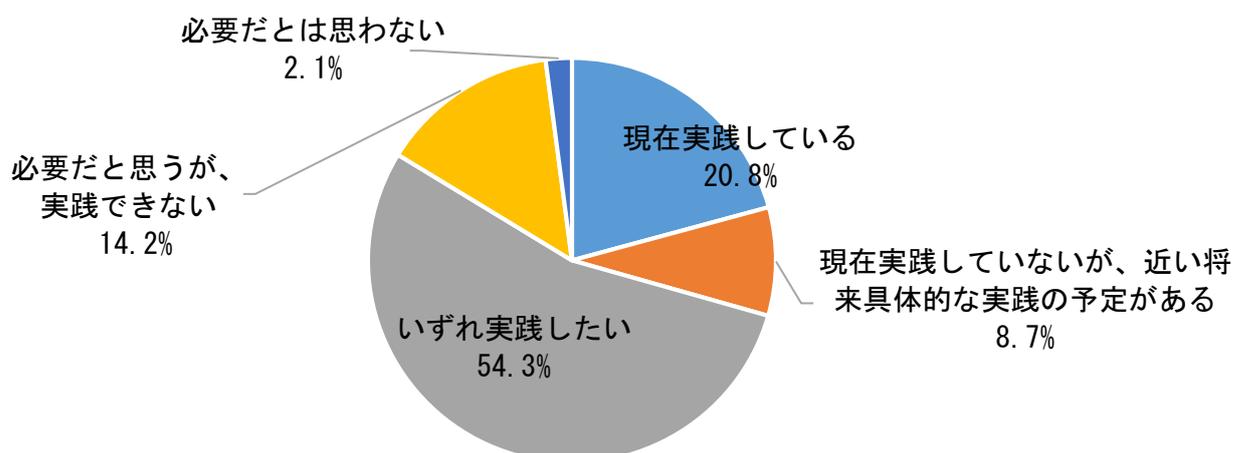
(参考) 2017年度調査結果



項目	有効回答数	パーセント
1 内容を知っている	83	29.0%
2 内容は知らないが、聞いたことはある	113	39.5%
3 聞いたことがない	90	31.5%
	286	100.0%

(Q2)「健康経営」を実践してみたいですか？

「現在実践している」企業は20.8%にとどまるが、「現在実践していないが、近い将来具体的な予定がある」「いずれ実践したい」「必要だと思うが、実践できない」を合わせると約98%と、ほとんどの企業が、健康経営の実践に関心を持っている。しかし、14.2%の企業は「必要だと思うが、実践できない」と回答し、一定数の中小企業が健康経営推進に課題を抱えていることが分かった。



※回答者は、「健康経営」に関する一定の説明を読んだ上で回答

項目	有効回答数	パーセント
1 現在実践している	60	20.8%
2 現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある	25	8.7%
3 いずれ実践したい	157	54.3%
4 必要だと思うが、実践できない	41	14.2%
5 必要だとは思わない	6	2.1%
	289	100.0%

(Q3) Q2で、1または2と回答した方にお聞きします。「健康経営」で実践している（実践の予定がある）具体的な取組みをご記入ください。（複数回答可、回答者数81社）

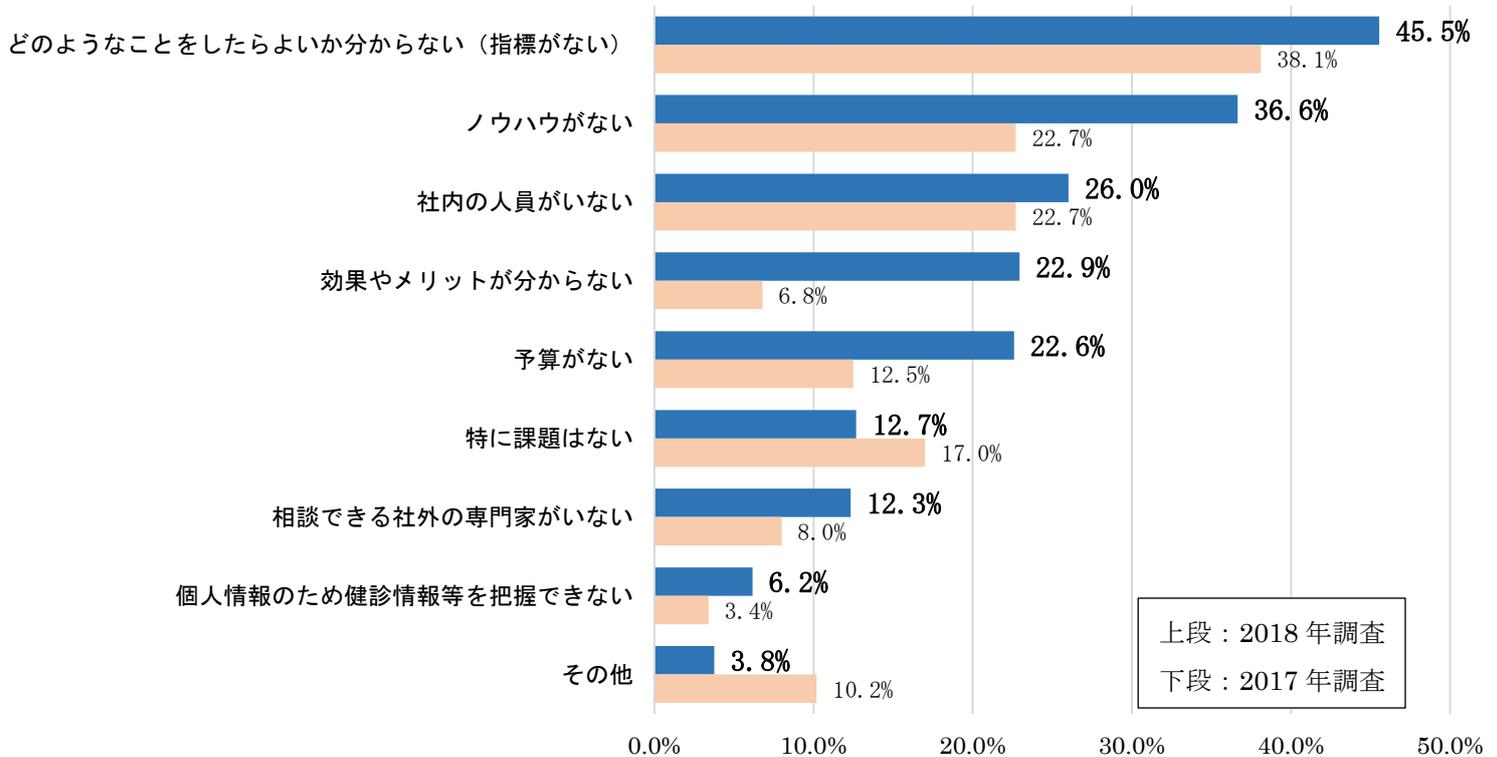
健康診断受診率100%など、「健診・検診」に関する実践（又は実践予定）が最も多く、次いで「休暇・時間外労働の削減」、「禁煙」と続いた。また、「スポーツイベントの実施」等、従業員の健康づくりに積極的な取組みを実践する企業も多かった。

健診・検診	・健康診断受診率 100% ・人間ドックの費用負担	等	42件
労働時間等の適正化	・ノー残業デイの設置 ・有休取得の推奨	等	16件
禁煙・分煙	・事業所内の完全禁煙 ・禁煙の推奨	等	12件
スポーツイベントの実施	・ウォーキング大会等の社内イベントの実施 ・ラジオ体操の実施	等	12件
メンタルヘルス	・産業医や保険師との面談実施 ・メンタルヘルスチェックの実施	等	9件
ストレスチェック	・ストレスチェックの実施 ・ストレスチェックのフォローアップ	等	7件
職場環境改善	・希望者へ椅子としてバランスボールを支給 ・事業所内に健康器具や血圧計の設置	等	5件
健康企業宣言	・健康企業宣言への参加		4件

※回答者は、「健康経営」に関する一定の説明を読んだ上で回答

(Q4) 健康経営を実践するにあたり、課題になる(なっている)と思うのはどれですか？(複数回答)

健康経営を実践する上での課題として、「どのようなことをしたらよいか分からない」が 45.5%、「ノウハウがない」が 36.6%、「社内の人員がない」が 26.0%と、上位には前回実施の調査結果と同じ項目が並んだ。また、「効果やメリットが分からない」が 22.9%で、前回の 6.8%から大幅に増加している。健康経営の実践促進のため、具体的な取り組み方法の周知や実践支援サポート施策のほかに、健康経営のメリットについて周知していくことが必要である。

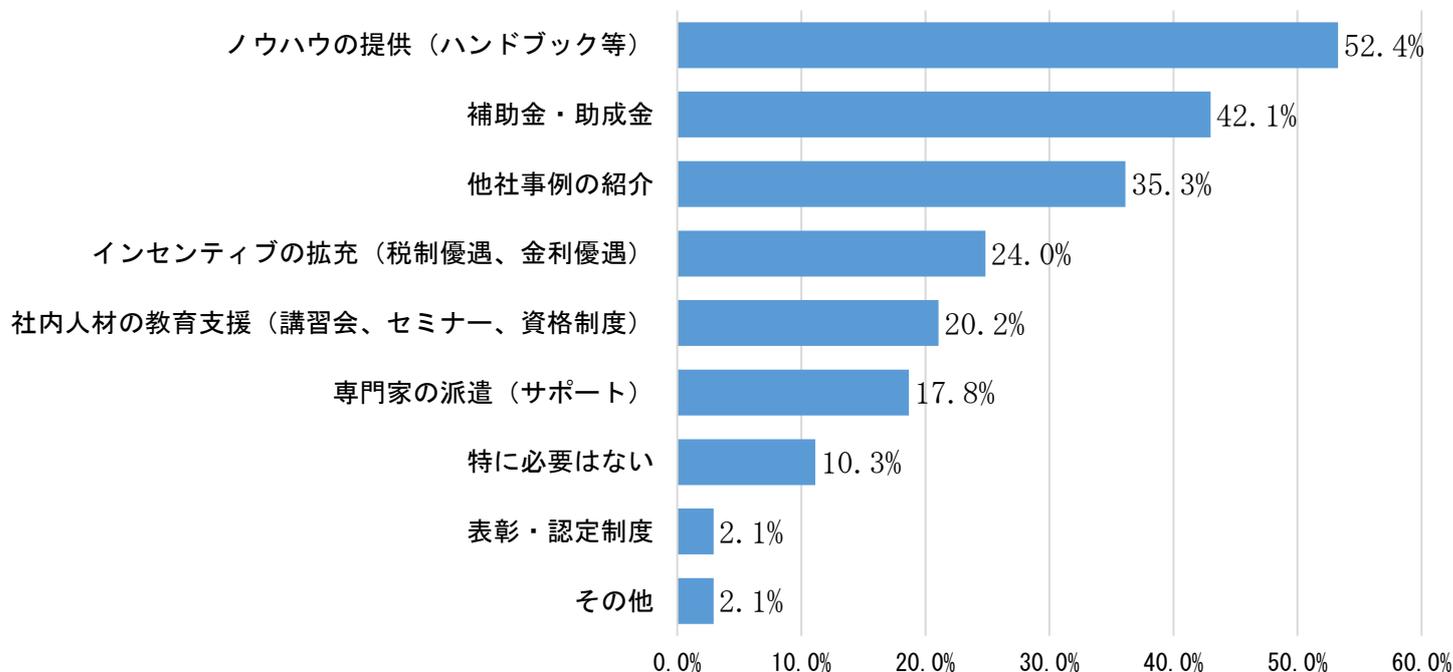


※回答者は、「健康経営」に関する一定の説明を読んだ上で回答

項目	有効回答数	パーセント
1 どのようなことをしたらよいか分からない(指標がない)	133	45.5%
2 ノウハウがない	107	36.6%
3 社内の人員がない	76	26.0%
4 効果やメリットが分からない	67	22.9%
5 予算がない	66	22.6%
6 特に課題はない	53	12.7%
7 相談できる社外の専門家がない	36	12.3%
8 個人情報のため健診情報等を把握できない	18	6.2%
9 その他	11	3.8%

(Q5) 健康経営を実践するにあたり、必要だと思う支援はどれですか？（複数回答可）

「ノウハウの提供（ハンドブック等）」が 52.4%、「他社事例の紹介」が 35.3%で、健康経営の具体的な取り組みの例示が求められている。また、「補助金・助成金」が 42.1%と、「インセンティブの拡充」や「表彰・認定制度」を上回り、健康経営の取り組みを費用の面でサポートする施策が望まれていることが分かった。

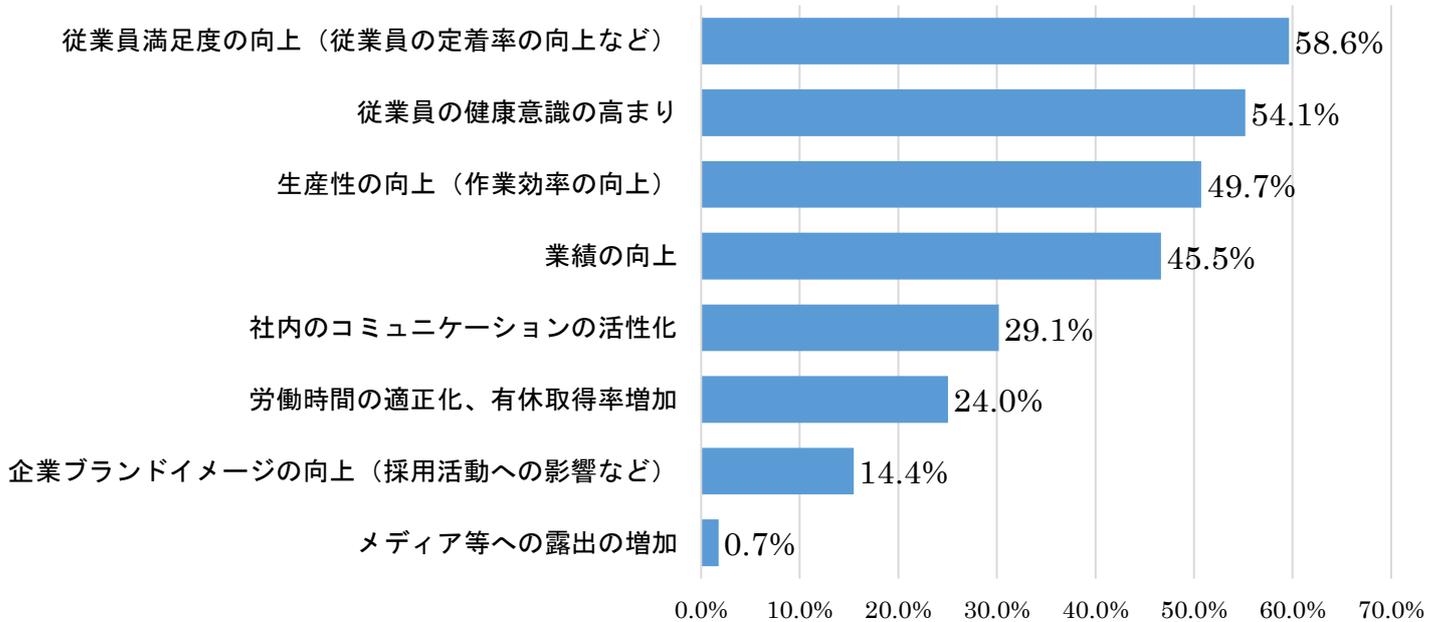


※回答者は、「健康経営」に関する一定の説明を読んだ上で回答

項目	有効回答数	パーセント
1 ノウハウの提供（ハンドブック等）	151	52.4%
2 補助金・助成金	122	42.1%
3 他社事例の紹介	103	35.3%
4 インセンティブの拡充（税制優遇、金利優遇）	69	24.0%
5 社内人材の教育支援（講習会、セミナー、資格制度）	59	20.2%
6 専門家の派遣（サポート）	52	17.8%
7 特に必要はない	30	10.3%
8 表彰・認定制度	6	2.1%
9 その他	6	2.1%

(Q6) 以下は、健康経営に取り組んでいる企業が実感している効果の例です。自社が健康経営に取り組むにあたり、その効果として魅力に感じるものはどれですか。(複数回答可)

「従業員満足度の向上（従業員の定着率の向上など）」が58.6%、「従業員の健康意識の高まり」が54.1%、「生産性の向上（作業効率の向上）」が49.7%、「業績の向上」が45.5%と上位を占め、従業員満足度や生産性、業績などの効果に魅力を感じていることが分かった。



※回答者は、「健康経営」に関する一定の説明を読んだ上で回答

項目	有効回答数	パーセント
1 従業員満足度の向上（従業員の定着率の向上など）	171	58.6%
2 従業員の健康意識の高まり	158	54.1%
3 生産性の向上（作業効率の向上）	145	49.7%
4 業績の向上	133	45.5%
5 社内のコミュニケーションの活性化	85	29.1%
6 労働時間の適正化、有休取得率増加	70	24.0%
7 企業ブランドイメージの向上（採用活動への影響など）	42	14.4%
8 メディア等への露出の増加	2	0.7%

Ⅲ. アンケートクロス集計結果

1. 従業員数別に見た健康経営の認知度

「従業員区分」と「(Q1)「健康経営」という言葉をご存じですか？」のクロス集計

従業員数別の認知度では、従業員が少ない企業ほど認知度は低く、特に10人未満の企業では17%と低い結果となった。企業規模によって認知度に大きな差が出る結果となり、健康経営の普及推進には、小規模企業へのアプローチが重要であることが分かった。

項目 従業員区分	内容を知っている	内容は知らないが、 聞いたことはある	聞いたことがない	
10人未満	17.1%	41.0%	41.9%	100%
10～50人未満	32.7%	40.2%	27.1%	100%
50人～100人未満	39.4%	36.4%	24.2%	100%
100人～300人未満	52.0%	32.0%	16.0%	100%
(全体)	29.0%	39.5%	31.5%	100%

2. 従業員数別に見た健康経営の実践状況

「従業員区分」と「(Q2)「健康経営」を実践してみたいですか？」のクロス集計

従業員数別の健康経営の実践状況では、従業員数が少ない企業ほど「現在実践している」と回答する割合が低いのにに対し、「必要だと思うが、実践できない」と回答する割合は高く、小規模の企業がより健康経営推進に課題を抱えていることが分かった。一方、10人未満の小規模の企業であっても、「必要だと思わない」はわずか3%にとどまり、企業規模にかかわらず健康経営への関心の高さがうかがえる。

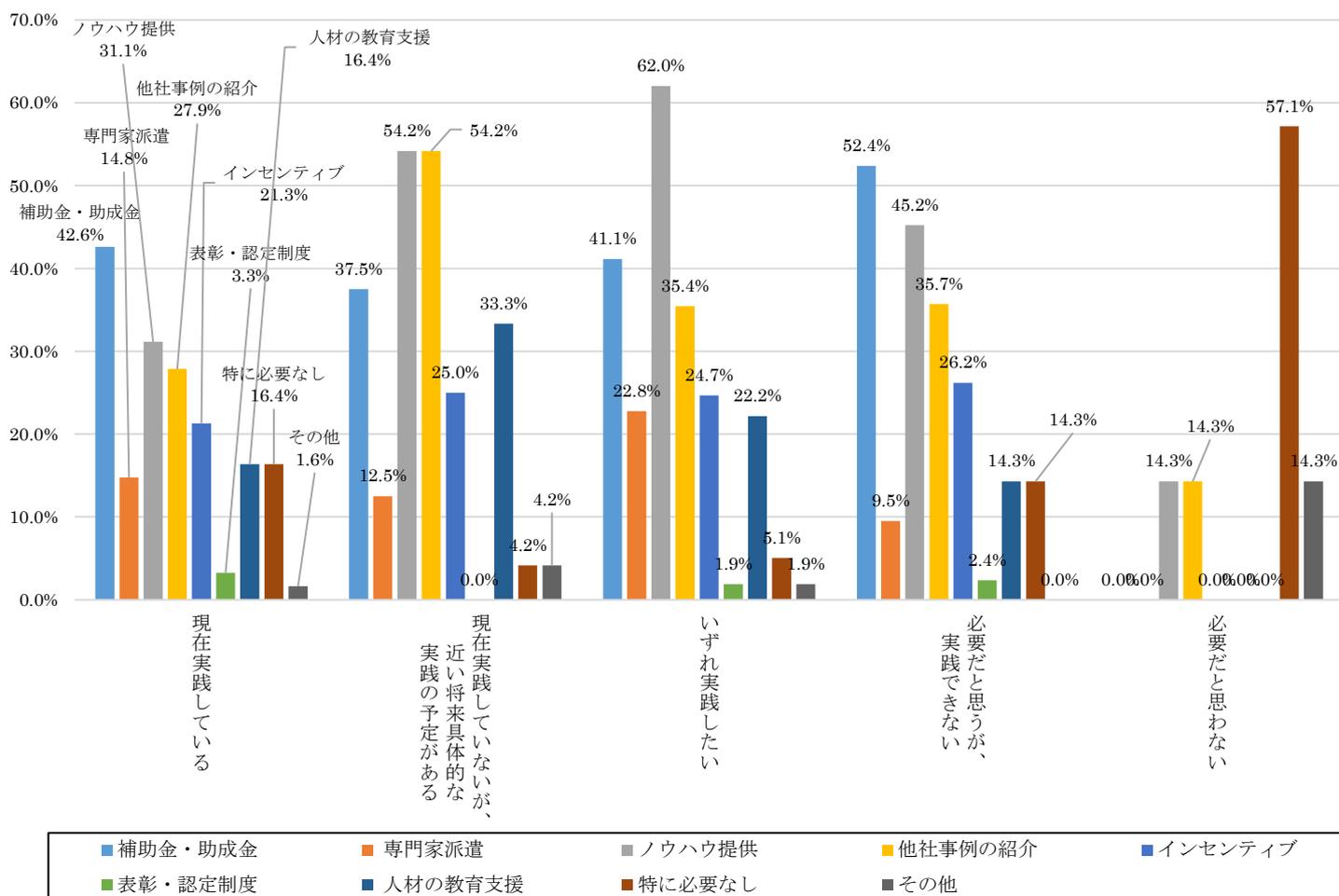
項目 従業員区分	現在実践している	現在実践していないが、 近い将来具体的な実践の 予定がある	いずれ実践したい	必要だと思うが 実践できない	必要だと思わない	
10人未満	16.9%	9.3%	52.5%	17.8%	3.4%	100%
10～50人未満	21.1%	6.4%	60.6%	10.1%	1.8%	100%
50人～100人未満	27.3%	6.1%	42.4%	24.2%	0.0%	100%
100人～300人未満	28.0%	16.0%	52.0%	4.0%	0.0%	100%
(全体)	20.8%	8.7%	54.3%	14.2%	2.1%	100%

3. 健康経営の実践の状況と必要と思う支援策

「(Q2)「健康経営」を実践してみたいですか?」と

「(Q5) 健康経営を実践するにあたり、必要だと思う支援はどれですか?」のクロス集計

健康経営の実践状況別に見た必要と思う支援策では、「現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある」と回答した企業の半数以上が「ノウハウの提供」や「他社事例の紹介」、「いずれ実践したい」と回答した企業の62%が「ノウハウの提供」と回答し、具体的な健康経営の取組み方法について支援を求めていることが分かった。また「必要だと思うが、実践できない」と回答した企業が最も必要性を感じている支援は「補助金・助成金」(52%)であった。



	補助金・助成金	専門家派遣	ノウハウ提供	他社事例の紹介	インセンティブ	表彰・認定制度	人材の教育支援	特に必要なし	その他
現在実践している	42.6%	14.8%	31.1%	27.9%	21.3%	3.3%	16.4%	16.4%	1.6%
現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある	37.5%	12.5%	54.2%	54.2%	25.0%	0.0%	33.3%	4.2%	4.2%
いずれ実践したい	41.1%	22.8%	62.0%	35.4%	24.7%	1.9%	22.2%	5.1%	1.9%
必要だと思うが、実践できない	52.4%	9.5%	45.2%	35.7%	26.2%	2.4%	14.3%	14.3%	0.0%
必要だと思わない	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	14.3%
(全体)	42.1%	17.8%	52.4%	35.3%	24.0%	2.1%	20.2%	10.3%	2.1%

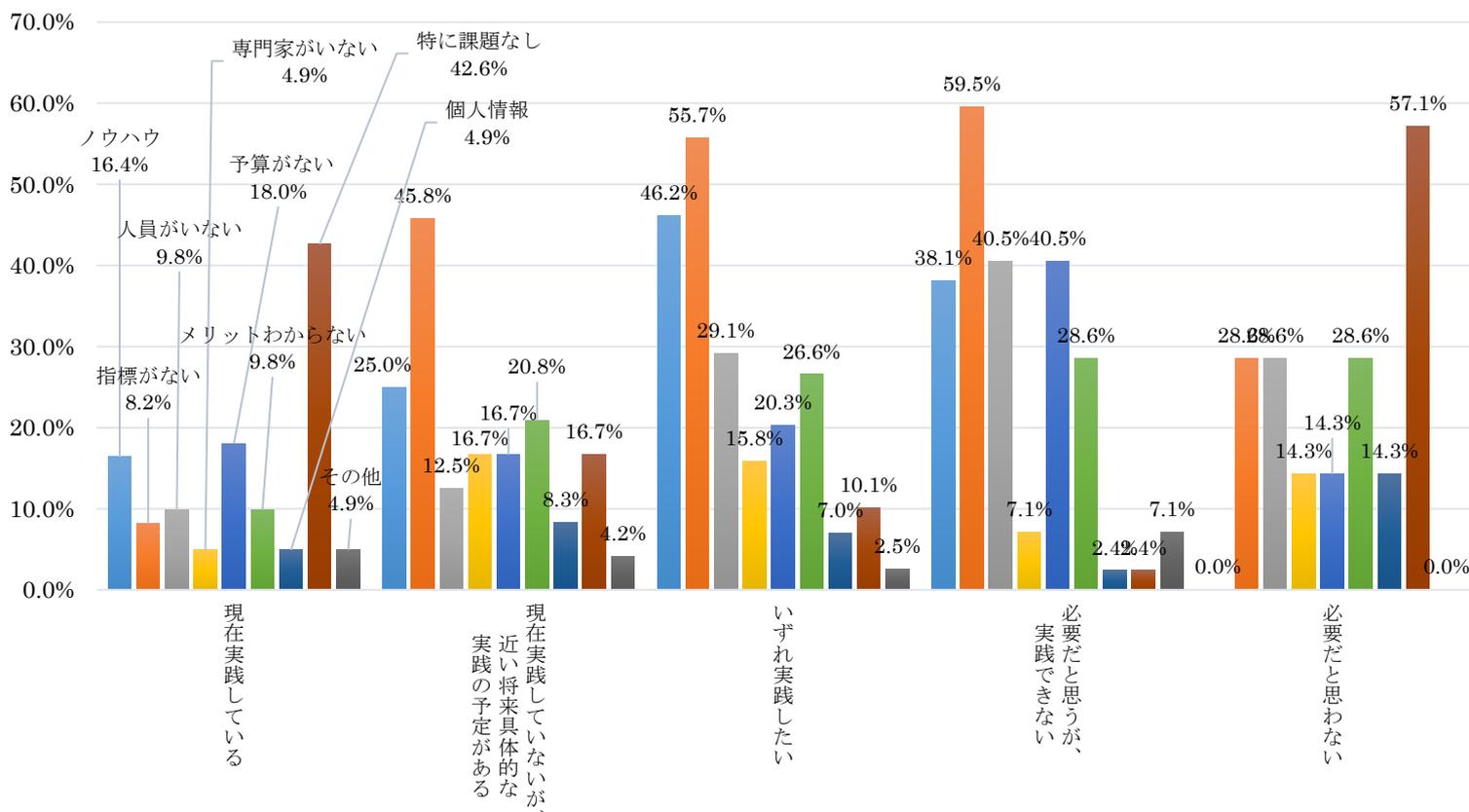
4. 健康経営の実践の状況と課題

「(Q2)「健康経営」を実践してみたいですか?」と

「(Q4) 健康経営を実践するにあたり、課題になる(なっている)と思うのはどれですか?」

のクロス集計

健康経営の実践状況別に見た課題では、「いずれ実践したい」と回答した企業の多くは「ノウハウがない」「指標がない(どのようなことをしたらよいか分からない)」を課題として感じている。また「必要だと思うが、実践できない」と回答した企業は「指標がない」に加え、特に「社内の人員がない」「予算がない」を課題として挙げる企業が多い結果となった。



■ ノウハウ ■ 指標がない ■ 人員がない ■ 専門家がいない ■ 予算がない ■ メリットわからない ■ 個人情報 ■ 特に課題なし ■ その他

	ノウハウがない	指標がない	人員がない	専門家がいない	予算がない	メリットがわからない	個人情報	特に課題なし	その他
現在実践している	16.4%	8.2%	9.8%	4.9%	18.0%	9.8%	4.9%	42.6%	4.9%
現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある	25.0%	45.8%	12.5%	16.7%	16.7%	20.8%	8.3%	16.7%	4.2%
いずれ実践したい	46.2%	55.7%	29.1%	15.8%	20.3%	26.6%	7.0%	10.1%	2.5%
必要だと思うが、実践できない	38.1%	59.5%	40.5%	7.1%	40.5%	28.6%	2.4%	2.4%	7.1%
必要だと思わない	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
(全体)	36.6%	45.5%	26.0%	12.3%	22.6%	22.9%	6.2%	12.7%	3.8%

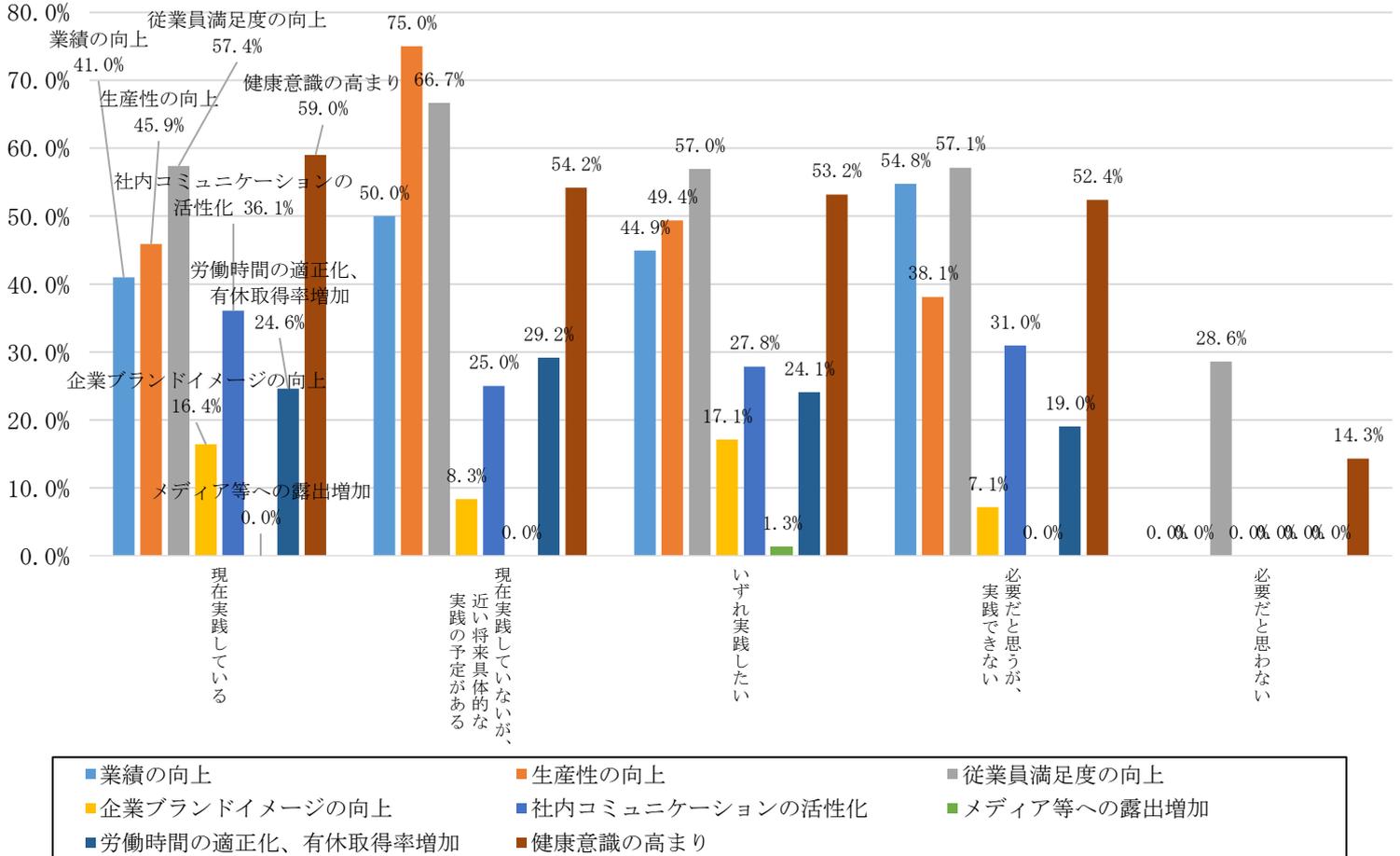
5. 健康経営の実践の状況と魅力に感じる効果

「(Q2)「健康経営」を実践してみたいですか?」と

「(Q6) 自社が健康経営に取り組むにあたり、その効果として魅力に感じるものはどれですか?」

のクロス集計

健康経営の実践状況別に見た魅力に感じる効果は、実践の状況に関わらず、ほぼ同様の回答割合となった。中でも、「生産性の向上」と回答する割合については、「現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある」企業は75%と高く、「必要だと思うが実践できない」企業は38%と低い結果となった。



	業績の向上	生産性の向上	従業員満足度の向上	企業ブランドイメージの向上	社内コミュニケーションの活性化	メディア等への露出増加	労働時間の適正化、有休取得率増加	健康意識の高まり
現在実践している	41.0%	45.9%	57.4%	16.4%	36.1%	0.0%	24.6%	59.0%
現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある	50.0%	75.0%	66.7%	8.3%	25.0%	0.0%	29.2%	54.2%
いずれ実践したい	44.9%	49.4%	57.0%	17.1%	27.8%	1.3%	24.1%	53.2%
必要だと思うが、実践できない	54.8%	38.1%	57.1%	7.1%	31.0%	0.0%	19.0%	52.4%
必要だと思わない	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
(全体)	45.5%	49.7%	58.6%	14.4%	29.1%	0.7%	24.0%	54.1%